

2016.7.29

## 1 学期終業式の校長の話

全校のみなさん、おはようございます。只今の発表はとてもいい発表でした。がんばった運動会のこと、努力したこと、感動したこと、絵を工夫して描いたこと、先生に褒めてもらって嬉しかったこと、夏休みはプールで水泳をがんばりたいこと、6年生を中心にがんばってきた挨拶の取組など、どれも素晴らしい発表でした。ありがとうございました。

今日は放送室からお話しをします。皆さんの顔が見えないことはとっても残念です。全校の皆さんの前でお話をするときには、聞いている皆さんがどんな目をして聞いているのか、そんな皆さんの反応を見ながら話ができるのですが、今日の皆さんはどんな風に私の話を聞いてくれるのでしょうか？

1 学期を振り返ってみますと本当にいろいろなことが目に浮かんできます。私の心に残っているのは、2年生のあるクラスで起こったことです。それは黒板の近くで起こりました。次の日の青空の時間に遊ぶ内容について相談していました。背の高い男の子が黒板にやりたい遊びを書き始めました。フリスビー、ドッジボール、鬼ごっこというようにです。書き始めたそのときです。近くにいた小さな男の子が、「僕にも書かせてよー」と背の高い男の子に頼みましたが、聞き入れてもらえませんでした。小さな男の子は、切なくなって悔しくて背の高い男の子に殴りかかろうとしたそのとき、ある男の子が止めました。「ねー、書かせて上げて！」と。背の高い男の子に険しい顔を向けていた小さな男の子は嬉しそうにドッジボールと書き始めました。もしかしたら、大げんかになっていたかもしれません。でも、「ねー、書かせて上げて！」のひとことで、温かい気持ちになることができました。私はこの言葉をいつくれた男の子のことがずっと忘れられません。黒板に書かせてもらえずに悔しい気持ちになっていた小さな男の子の気持ちになって、背の高い子に対して「書かせて上げて！」と教えて上げたのです。子ども同士は「教え合っこ」、と言う言葉があります。お互いに教えて上げることができたらすてきなあとだと思います。授業中おしゃべりしている人がいて、誰かが意見を言おうとしても言い出しません。そんな時はありませんか？ そんなときはどんな風に教えて上げたらいいでしょう。

「うるさい。静かにしてー」と注意をしますか？ 注意をするより、「〇〇さんがお話ししようとしているよ」と教えて上げたらどうでしょう？

私たちは、大きな声や厳しい声で注意をしてしまうことが多くありますが、そんな声で注意をすると、その場所が嫌～な場所になってしまいます。

子ども同士は「教え合いっこ」。何か気づいたことがあったら教えてあげてください。2学期は、教え合いっこがたくさんできるといいなあと思います。

さて、明日から待ちに待った夏休みです。皆さんには楽しみなことがたくさんあることでしょう。

私はもうじき始まるオリンピックを楽しみにしています。地球の裏側ブラジルのリオで開かれます。皆さんは奥原希望さんというバドミントンの選手を知っていますか？ 今回のオリンピックに初めて出場します。奥原希望さんが大町市立仁科台中学校の生徒だった時、私は奥原さんの音楽の先生でした。希望さんは音楽係もしていました。バドミントンばかりではなく、歌も上手だったし、算数もとってもできたし、給食のご飯もたくさん食べていたし、どんなことに対しても積極的でした。そして何より自分を外に向かって出していく生徒でした。いい方向に自分を変えていこう、変わっていこうと努力していた生徒でした。だからこそオリンピック出場という夢が叶ったのではないのでしょうか。私はうんと応援しようと思います。皆さんも応援をよろしくお願いします。

今年は少し長い夏休みです。けがや病気のない休みにしましょう。

交通事故に合わないようになしてください。そして事件に巻き込まれることがないようにしてください。

8月29日、元気に登校しましょう。そしておはようって元気にハイタッチをしましょう。

先生のお話は以上です。

よく聞いてくれてありがとうございます。